

2020 年 4 月 1 日

組織改編について

アセットマネジメントOne 株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野 暁、以下「AM-One」）は、2020 年 4 月 1 日付で以下の組織改編を実施します。

1. サステナビリティ推進室の新設

社会や地球環境等の持続性に対する関心や問題意識が世界的に高まる中、AM-One は 2016 年の設立と同時に責任投資部を新設するなど、スチュワードシップ活動に積極的に取り組んでいます。自社としても社会からの要請に応える必要性が高まっている状況に鑑み、ステークホルダーとの信頼関係を確かなものとするよう、社長直轄組織としてサステナビリティ推進室を新設します。

資産運用会社における社会的役割を十分認識し、持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進していきます。

2. 営業体制の強化に向けた組織改編の実施

お客さまの資産運用ニーズに対してきめ細やかな対応・サポートを実施するため、以下 2 点について営業体制を改編します。

① 地方金融法人向け私募投信営業に係る所管移管

マイナス金利が長期化する中、リスクを適切にコントロールするマルチアセット運用や、オルタナティブ投資によるリスク/リターンプロファイルの多様化・高度化が求められています。また、お客さまのポートフォリオ全般のリスク状況を把握した上で、ソリューション提案を行う重要性も高まっています。このような観点から、地方金法向け私募投信の営業体制を機関投資家営業本部へ移管し、お客様の運用ニーズに対するサポート強化を目指します。

② プロダクトマネジャー機能の分離

お客さまに対し、オルタナティブ運用などの高度なソリューションの提供力の強化を目指し、プロダクトマネジャー（PM）の所管を分離します。具体的には、運用本部ソリューション推進グループは伝統資産商品に係る PM を担当し、戦略運用本部マルチマネジャー運用グループはオルタナティブ商品に係る PM を担当する体制とします。これにより、運用スタイルやプロダクトの特徴等を踏まえた上で、これまで以上に的確かつニーズに即したファンド提案や資産運用サポートを実現します。

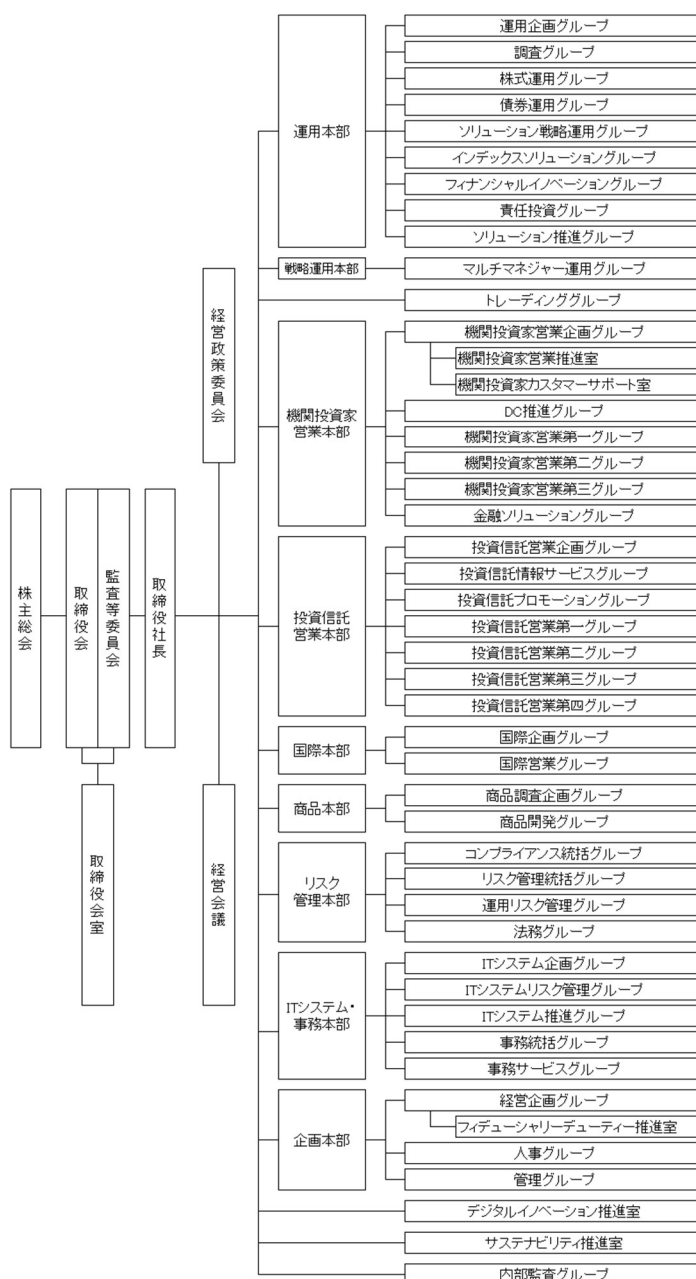
3. 組織重層化の解消

業務執行における意思決定プロセスについてのスピード向上、効率化推進を図るため、組織体制を「本部／グループ・室／部」の三層構造から「本部／グループ・室」二層構造とします。

「貯蓄から資産形成へ」の流れが強まる一方で、市場環境は不透明さを増しており、資産運用会社にかかる期待や責任は増大しています。当社は、業界のリーディングカンパニーとして、個人の皆さまならびに機関投資家の皆さまにいちばん信頼される資産運用会社を目指してまいります。

以 上

【 新組織体制（2020年4月1日） 】



【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約55兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

H P : <http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2019年12月末時点。

商 号 等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会